

令和6年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

多治見市青少年まちづくり市民会議

1 わたしの主張 2024 多治見市大会

令和6年6月15日に、多治見市バロー文化ホールにおいて、「わたしの主張 2024 多治見市大会」を開催しました。

多治見市では、市内13小学校区の「わたしの主張 校区大会」において最優秀賞を受賞した小学生、中学生各1名が多治見市大会に出場することとしています。令和6年度も、各校区の代表合計26名が出場し、世の中の情勢について、未来への提案、家庭や学校生活、友だちとの関わりなどを通じて感じたことなどをテーマに、思いのこもった主張が繰り広げられました。

これらの主張に対し、参加者からは「子供達の身近な経験や生活の中での思いを主張につなげることのすばらしさを感じた」、「一生懸命さが伝わってきた」などの素敵な感想をいただきました。

また、当日は青少年育成推進員を中心に、市内の中学生ボランティア22名とともに準備・運営を行いました。



2 多治見市青少年まちづくり市民大会

令和7年2月15日に、多治見市バロー文化ホールにおいて、「令和6年度多治見市青少年まちづくり市民大会」を開催しました。

多治見市では、市内13小学校区にある校区まちづくり市民会議が順番で活動報告をします。令和6年度は、共栄、昭和、小泉の3校区が発表校区となり、それぞれ工夫された活動報告を行いました。また、会場入口には全校区の活動を紹介するパネル展示も行い、各校区の活動を多くの方にPRしました。



3 挨拶で絆の日

多治見市では、「挨拶によって絆を築くことができるまちをつくりたい」という子どもたちの意見から始まった「挨拶で絆の日」があります。令和6年度は、7月1日と11月1日に、各校区で挨拶活動を行いました。

通学路や学校前では登校中の子どもたち、青少年まちづくり市民会議の方々、保護者さんや地域の方、通勤途中の方など、地域全体で明るい笑顔と挨拶を交わすことができました。挨拶をきっかけに地域の絆が深まり、住みよいまちづくりにつながっています。

